

# 佐賀県感染症発生動向調査速報

平成17年第20週 平成17年5月16日(月)～平成17年5月22日(日)

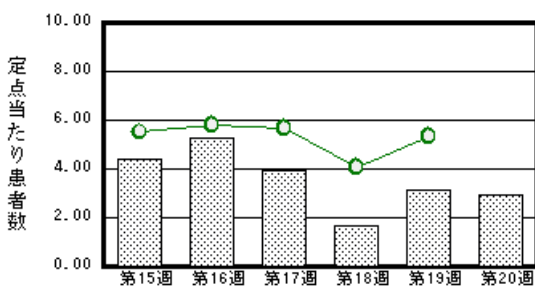
<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

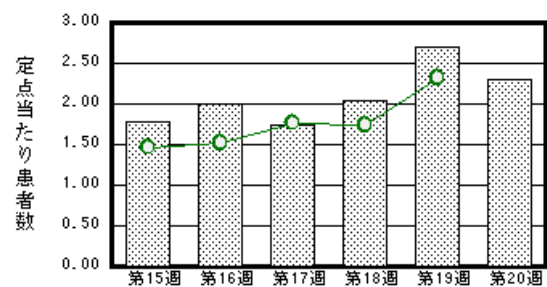
## 注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎 (67名) 水痘 (53名) 流行性耳下腺炎 (49名) インフルエンザ (44名) ヘルパンギーナ (31名)
- 【ヘルパンギーナ】患者報告数は減少しました(34 31名)が、全国的に報告数が増加していますのでうがい、手洗い等、一般的な感染予防に努めましょう。詳しくは国立感染症研究所感染症情報センターの「感染症の話」を御覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03.08.html>
- 【インフルエンザ】患者報告数が増加しました(18 44名)。伊万里保健所管内での学級閉鎖など、県内においてまだ患者発生がありますのでうがい、手洗い等、一般的な感染予防に努めましょう。

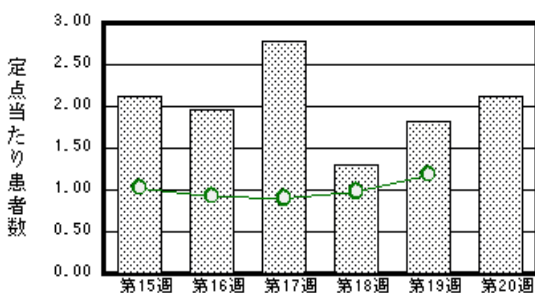
感染性胃腸炎



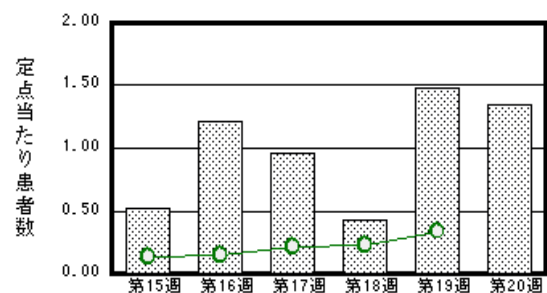
水痘



流行性耳下腺炎



ヘルパンギーナ



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

2005年第17週号 (4月25日～5月1日)

全国版感染症週報 (DWR) 第18週号 (5月2日～5月8日) 合併号要点

・ 発生動向総覧	< 第17週 > ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第12週以降、増加が続いており 過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	< 麻しん > 2001年には報告数が増加したが、麻しんワクチン接種キャンペーンが開始され、その後、報告数は減少を続けている
・ 病原体情報	インフルエンザウイルス2004/05シーズン / 手足口病患者から検出されているウイルス 2004～2005年
・ 速報	簡易水道が原因と考えられたノロウイルスの流行 - 秋田県
・ 海外感染症情報	インドでの髄膜炎菌感染症流行 / アンゴラ - マールブルグ病流行 / コンゴ共和国で急性出血熱の疑い / CDCがドミニカのリゾート地域におけるマラリア予防勧告を解除
・ 感染症の話	< 今週はお休みです >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

# 佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

今週の届出はありませんでした。

インフルエンザ様疾患学年(級)閉鎖状況

施設名	学級名等	措置等
伊万里市立立花小学校	4年1組	5/17-18 学級閉鎖

\* 平成17年5月18日記者発表済み

## 佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 (五類感染症 (週報分))

平成17年第20週

平成17年5月16日(月)~平成17年5月22日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第19週)
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	4 0.31	7 1.40	1 0.14	24 4.80	8 0.89	44 1.13	18 0.46	3044 0.64
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								29
	咽頭結膜熱	1 0.13	5 1.67				6 0.26	2 0.09	836 0.27
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	5 0.63	4 1.33	2 0.50	3 1.00	8 1.60	22 0.96	24 1.04	4611 1.50
	感染性胃腸炎	24 3.00	23 7.67	4 1.00	2 0.67	14 2.80	67 2.91	72 3.13	16323 5.32
	水痘	24 3.00	8 2.67	11 2.75	2 0.67	8 1.60	53 2.30	62 2.70	7127 2.32
	手足口病	7 0.88	10 3.33	6 1.50		2 0.40	25 1.09	12 0.52	1024 0.33
	伝染性紅斑	1 0.13	2 0.67	5 1.25	2 0.67	1 0.20	11 0.48	11 0.48	799 0.26
	突発性発しん	7 0.88	7 2.33	8 2.00	3 1.00	1 0.20	26 1.13	31 1.35	2069 0.67
	百日咳								33 0.01
	風しん								21 0.01
	ヘルパンギーナ	5 0.63	7 2.33	10 2.50		9 1.80	31 1.35	34 1.48	1050 0.34
	麻しん(成人 麻しんを除く)								8 0.00
	流行性耳下腺炎	15 1.88	20 6.67	3 0.75	6 2.00	5 1.00	49 2.13	42 1.83	3664 1.19
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								22 0.03
	流行性角結膜炎								597 0.92
基幹 (6)	細菌性髄膜炎							1 0.17	11 0.02
	無菌性髄膜炎								12 0.03
	マイコプラズマ肺炎							2 0.33	130 0.28
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								12 0.03
	成人麻しん								

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は18週分(患者報告数)で17週は24例である。

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成17年第20週 平成17年5月16日(月)~平成17年5月22日(日)

インフルエンザ 定点	インフル エンザ (高病原 性鳥イン フルエン ザを除く)	小児科 定点	RSV ウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科 基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満				1	4									6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満				5	6	1		16			2		1	12ヶ月未満								
1歳	1	1歳			1	10	10	7	1	10			10		6	1歳								
2歳		2歳		4		8	10	7	1				11		4	2歳								
3歳	1	3歳		2		5	9	4	1				5		3	3歳								
4歳		4歳			4	11	7	5	2				2		14	4歳								
5歳		5歳			7	4	4	1	3				1		9	5歳								
6歳	1	6歳			4	2			1						2	6歳								
7歳	1	7歳			4	4	1		1						5	7歳								
8歳		8歳				4									1	8歳								
9歳	21	9歳			2	2	1								2	9歳								
10歳~14歳	11	10歳~14歳				8			1						2	10歳~14歳								
15歳~19歳		15歳~19歳				1	1									15歳~19歳								
20歳~29歳		20歳以上				2										20歳~29歳								
30歳~39歳	4															30歳~39歳								
40歳~49歳	3															40歳~49歳								
50歳~59歳	1															50歳~59歳								
60歳~69歳																60歳~69歳								
70歳~79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計	44	合計		6	22	67	53	25	11	26			31		49	合計								
前期計	18	前期計		2	24	72	62	12	11	31			34		42	前期計			1		2			
当期間/前	2.44	当期間/前	***	3	0.92	0.93	0.85	2.08	1	0.84	***	***	0.91	***	1.17	当期間/前	***	***		***		***	***	***
増減数	26	増減数		4	-2	-5	-9	13		-5			-3		7	増減数			-1		-2			

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

\*\*\*は前期計が"0"のとき

